



新型コロナウイルス感染症（COVID-19）

今後の医療提供体制等 について

2020年6月10日（水）17:00~18:00

東京都医師会緊急記者会見 於 東京都医師会館

1. 検査体制
2. 外来医療体制
3. 入院医療体制
4. 宿泊療養体制
5. 都民への情報提供・啓発活動
6. 日本医師会・国への要望
7. その先の感染症対策

1. 検査体制

- 1) PCRセンター：都内どこに住んでいても必要な際は確実に迅速に検査を受けられる体制
- 2) 救急外来での抗原検査・PCR検査：救急搬送や要入院の際の適確な振り分け
- 3) 抗体検査：既感染の探知、疫学的調査による対策の効率化
- 4) 検査結果の迅速な一元的集約

2. 外来医療体制

- 1) かかりつけ医：電話対応・外来診療によるトリアージ体制の拡充
- 2) PCRセンター・入院医療機関へのスムーズな紹介・連携
- 3) 地域医師会：発熱者等に対する地域での診療体制の確立
- 4) 感染予防：手技の標準化、感染防護機材の安定的な確保
- 5) 搬送体制：迅速・確実な搬送手段

3. 入院医療体制

- 1) COVID-19専門病院の指定：地理的・人口分布に応じた専門病院の設立
- 2) 重症・重篤者への対応：ECMO等の機材・専門スタッフの確保、集約的・効率的な運用
- 3) 疑似症患者の入院体制確保
- 4) 回復後の継続的な入院医療の確保（回復期リハ等）

- 5) 転院搬送の体制、調整本部の強化
- 6) 院内感染対策：十分な医療機材・
人員の確保と教育
- 7) 平時からの病院機能への十分な
医療資源の投入
- 8) 高齢者・障害者施設など重症化の高
い施設への対応、精神疾患・認知症
等の入院先等の確保

4. 宿泊療養（自宅療養）体制

- 1) 宿泊施設（ホテル）療養の充実
- 2) 医療的ケア・メンタルケア体制の確立
- 3) 退所時までのマニュアル化・退所後のフォローアップ体制の強化
- 4) やむを得ない自宅療養に対する保健所とかかりつけ医等との連携
- 5) 重症化早期探知システム
- 6) 重症化予防のための薬剤投与

5. 都民への情報提供・啓発活動

- 1) 正確な情報の一元的な発信
- 2) 種々の媒体・機会を用いた多面的な情報提供
- 3) 社会的偏見・差別 (Stigma) の絶対的な排除
- 4) 新しいライフスタイル・意識の理解と浸透
- 5) 接触確認アプリを導入するのであれば都民への丁寧な説明が必要

6. 日本医師会・国への要望

- 1) 地域医療体制堅持のための財政支援・新制度策定等
- 2) 重症化予防薬・抗ウイルス薬の早急な使用可能性の確保、ワクチンの開発
- 3) 情報の全国的な集約と提供
- 4) 都市部と地方部との意識・経験の共有
- 5) 人的・物的資源等の全国的な調整
- 6) 感染症に対する横断的な組織の設立

7. その先の感染症対策

- 1) 日本版CDCの確実な設立
(全国的サーベイランス体制の確立、
特に首都圏)
- 2) 東京都医師会の本部機能の強化
アウトブレイク時のBCP
日医、地域医師会との迅速な連携
医師会員間の迅速な情報共有
- 3) COVID-19対策のしっかりとした検証

- 4) 国際的な協力・連携体制の更なる
緊密化
- 5) 新型感染症に対する新たなライフ
スタイルの提案と議論
- 6) 超高齢社会におけるACPを含めた自
己の治療に対する意思についての国
民的な議論 指定感染症との関連性等も
- 7) 今後の日本の医療体制についての
国民的な合意形成